

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公開番号】特開2001-290613(P2001-290613A)

【公開日】平成13年10月19日(2001.10.19)

【出願番号】特願2000-107126(P2000-107126)

【国際特許分類】

<b>G 06 F</b>	<b>3/12</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 41 J</b>	<b>29/38</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 06 F</b>	<b>15/00</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

G 06 F	3/12	A
B 41 J	29/38	Z
G 06 F	15/00	3 1 0 R

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月3日(2007.4.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の情報処理装置、第2の情報処理装置及び出力装置で構成されるジョブ処理システムであって、

前記第1の情報処理装置は、

出力されるべき出力データと前記出力データの出力を開始するために使用される属性情報とを含むジョブデータを前記出力装置に転送するジョブ発行手段と、

前記属性情報と前記出力装置を識別する識別情報を、前記第2の情報処理装置に通知する通知手段とを備え、

前記第2の情報処理装置は、

ユーザからの指示に従って、前記通知手段により通知された前記属性情報を、前記通知手段により通知された前記識別情報を識別する出力装置に、前記ユーザが前記属性情報と前記識別情報を入力することなしに送信する送信手段を備え、

前記出力装置は、

前記ジョブ発行手段により転送された前記ジョブデータに含まれる前記出力データと前記属性情報を記憶する記憶手段と、

前記送信手段により送信された前記属性情報が前記記憶手段に記憶されている前記属性情報に対応する場合に、前記記憶手段に記憶されている前記出力データの出力処理を行う制御手段とを備えることを特徴とするジョブ処理システム。

【請求項2】

前記第2の情報処理装置は、更に、

前記通知手段によって通知された前記属性情報と前記識別情報を受けた場合に、ジョブの発行を外部に報知する報知手段を備え、

前記送信手段は、前記ユーザによる所定の操作が行われた場合、前記通知手段により通知された前記属性情報を送信することを特徴とする請求項第1項に記載のジョブ処理システム。

【請求項3】

前記第2の情報処理装置は、更に、

前記通知手段により通知された前記属性情報と前記識別情報を他の装置に通知する第2の通知手段と、

前記ジョブ発行手段により転送された前記ジョブデータの出力許可を与えるユーザを前記出力装置に対して追加修正する追加手段を備えることを特徴とする請求項1或いは2に記載のジョブ処理システム。

【請求項4】

前記ジョブ発行手段は、前記出力データの出力上限回数を示す第2の属性情報を含む前記ジョブデータを転送し、

前記出力装置は、前記出力データの出力回数が前記出力上限回数になった場合に、前記出力データを消去する消去手段を更に備えることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のジョブ処理システム。

【請求項5】

前記ジョブ発行手段は、前記出力データの有効期限を示す第3の属性情報を含む前記ジョブデータを転送し、

前記出力装置は、前記有効期限が満了した場合に、前記出力データを消去する第2の消去手段を更に備えることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のジョブ処理システム。

【請求項6】

前記出力データの出力を開始するために使用される前記属性情報はパスワードであることを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のジョブ処理システム。

【請求項7】

前記出力データは印刷データであり、前記出力装置は印刷装置であることを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載のジョブ処理システム。

【請求項8】

第1の情報処理装置、第2の情報処理装置及び出力装置で構成されるジョブ処理システムの制御方法であって、

前記第1の情報処理装置は、

出力されるべき出力データと前記出力データの出力を開始するために使用される属性情報を含むジョブデータを当該出力装置に転送するジョブ発行工程と、

前記属性情報を前記出力装置を識別する識別情報を、前記第2の情報処理装置に通知する通知工程とを実行し、

前記第2の情報処理装置は、

ユーザからの指示に従って、前記通知工程により通知された前記属性情報を、前記通知工程により通知された前記識別情報を識別する出力装置に、前記ユーザが前記属性情報と前記識別情報を入力することなしに送信する送信工程を実行し、

前記出力装置は、

前記ジョブ発行工程により転送された前記ジョブデータに含まれる前記出力データと前記属性情報を記憶手段に記憶する記憶工程と、

前記送信工程により送信された前記属性情報を前記記憶手段に記憶している前記属性情報に対応する場合に、前記記憶手段に記憶している前記出力データの出力処理を行う制御工程とを備えることを特徴とするジョブ処理システムの制御方法。

【請求項9】

請求項第8項に記載の各工程をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ可読の記憶媒体。

【請求項10】

出力装置であって、

出力されるべき出力データと前記出力データの出力を開始するために使用される属性情報を含むジョブデータを第1の情報処理装置から受信する第1の受信手段と、

前記出力装置を識別する識別情報をと共に前記第1の情報処理装置から第2の情報処理装

置に通知された前記属性情報であって、ユーザからの指示に従って前記ユーザが前記属性情報と前記識別情報を入力することなしに前記第2の情報処理装置によって送信された前記属性情報を前記第2の情報処理装置から受信する第2の受信手段と、

前記第2の受信手段により受信された前記属性情報が前記第1の受信手段により受信された前記属性情報に対応する場合に、前記第1の受信手段により受信された前記出力データの出力処理を行う制御手段とを備えることを特徴とする出力装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0112

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0112】

また、ジョブ発行データではないと判断した場合には、ステップS2007に進んで、ジョブ実行コマンドか否かを判断する。ジョブ実行コマンドであると判断した場合には、そのコマンドで指定されたジョブIDで示されるジョブの受取人の欄に、そのジョブ実行コマンドの送信元（上記実施形態ではPC103）が含まれ、尚且つ、パスワードも合致するか否かを判断することで、認証処理を行う（ステップS2008）。この認証処理がパスすると、ステップS2009において、該当するジョブを印刷キューに登録する。